

## loggerについて

### Controllerの場合

独自のLoggerWrapperを使用 ( *resources/18n/event.properties* から定型文を取得できる )

```
private static final LoggerWrapper logger = LoggerWrapperFactory.getLogger(クラス名);
```

### 使い方

以下のMethodを用意する。クラスの初期化で呼ばれるので、他の処理を入れてもよい。

```
@PostConstruct
protected void init() {
    logger.setMessageSource(messageSource);
}
```

### 使う場所

Methodの始まり

```
logger.infoCode("I0001"); // I0001=メソッド開始:{0}
```

Methodの終り (return直前)

```
logger.infoCode("I0002", xxxx); // I0002=メソッド終了:{0}
return xxxx;
```

### 正常の場合

```
logger.infoCode("Ixxxx", yyyy);
```

I1001=ログイン成功。{0}  
I1002=ログアウトしました。{0}  
I1003=削除しました。{0}  
I1004=更新しました。{0}  
I1005=パスワードを更新しました。{0}  
I1006=削除ユーザ: {0}  
I1007=処理中です。しばらくお待ちください。{0}

### 警告の場合

～ ～ //処理結果

```
logger.warnCode("Wxxxx", yyyy);
```

W1001=該当するデータはありません。{0}

W1002={0}は{1}の為、更新できません。

W1003={0}は別のユーザーによって更新されている為、削除できませんでした。

W1004={0}は{1}の為、削除できませんでした。

W1005=旧パスワードが正しくありません。{0}

W1006=データが存在しないか指定のデータは別のユーザーによって更新されている為、更新できませんでした。{0}

W1007={0}を確認してください。

W1008={0}から再度、お試しください。

## ERRORの場合

throwする場合 = ERRORの場合。 ただしexceptionをcatchして処理する場合はInfo,Warnを使用してください。

～ ～ //処理結果

```
logger.errorCode("E0014", ex.getMessage()); // E0014=メソッド異常終了:{0}
```

```
throw ex;
```

または

```
throw new ApplicationException(xxxxx);
```

exceptionを埋め込み

～ ～ //処理結果

```
logger.errorCode("Exxxx", ex);
```

E1001={0}は別のユーザーによって更新されている為、更新できませんでした。

E1002=選択した{0}は対応していません。

E1003=データが正常でない為、実行できません。

E1004=正しくアクセスが行われなかった為、エラーが発生しました。

E1005=ページのデータ保持期限が切れています。

E1006=権限がありません。{0}

E1007=登録に失敗しました。{0}

E1008=更新に失敗しました。{0}

E1009=削除に失敗しました。{0}

E1010=処理回数をオーバーです。{0}

E1011=ダウンロードに失敗しました。{0}

E1012=ファイルのアップロードに失敗しました。{0}

E1013=エラーとなりました。{0}

## DEBUG、TRACEの場合

isDebugEnabled()、isTraceEnabled()で囲むこと。

```
if (logger.isDebugEnabled()) {  
    logger.debug(~ ~ ~ ~);  
    logger.debug(~ ~ ~ ~);  
}
```

## メッセージを増やしたい場合

研川に連絡する。event.propertiesに追記します。

## ServiceImplの場合

Controllerにbooleanなどで、ERROR内容を返さない場合に記載する。

例：

Update、Delete失敗。Controllerにはfalseをreturnする場合など。

Insertの場合は戻り値は、成功=シーケンスKey、失敗 = nullなど。

## Repositoryの場合

不要

## その他

CoreやUtilに関わるClassの場合は

通常のLoggerを使用 propertiesからメッセージを取得しないITYPE。

```
private static final Logger logger = LoggerFactory.getLogger(クラス名);
```

以上です。